

闇夜で狂気と嫉妬に舞う女。
瞬時に漆黒の世界を描く男。
二人が交錯する瞬間を見届ける時、
私たちは何かを得るのか？ 失うのか？

超える舞踊会

上方舞と墨画絵師の競演

一期一会

vol. 1

山村若静紀／地歌舞「鉄輪」
東學／ライブペインティング 墨画
菊央雄司／歌三味線
わかぎるふ／演出

2024年8月30日(金) 19:00開演 18:30開場
6,000円 全席自由

新宿歌舞伎町能舞台



主催：超える舞踊会
協力：新宿歌舞伎町能舞台、新宿Well-beingラボ
お問い合わせ：山村若静紀 info@wakashizuki.jp
チケット予約：koerubuyokai.peatix.com





一期一会

vol. 1

上方舞と
墨画
競演
の
絵師

超える舞踊会

「鉄輪」愛する夫に裏切られ嫉妬に狂った女が、
貴船神社に丑の刻詣りをし、呪いをかける様を描いた舞。
「葵の上」と並ぶ地獄の舞とも呼ばれる。

第1回めは、
メトロポリタン美術館に作品が永久保存されている絵師・東學のライブペインティングと、
情念がほとばしる地歌舞『鉄輪』の、鬼才わかぎゑふ演出によるコラボレーション。

2024年8月30日(金) 19:00開演 18:30開場

料金:6,000円 全席自由 チケット予約:koerubuyokai.peatix.com

新宿歌舞伎町能舞台

160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-9-18 ライオンズプラザ新宿 2F

アクセス:東京メトロ丸の内線・副都心線・都営新宿線

「新宿三丁目駅」E1出口より徒歩3分

西武新宿線「西武新宿駅」北口より徒歩8分

STAFF 演出:わかぎゑふ 照明:伊藤 馨
演出部:浅野彰一・長橋遼也 宣伝美術:東 學
協力:新宿歌舞伎町能舞台、新宿Well-beingラボ
制作:渡邊直子 主催:超える舞踊会

お問い合わせ:山村若静紀 info@wakashizuki.jp



山村若静紀(やまむらわかしづき)

1970年、京都府生まれ。3歳より日本舞踊を始め、山村若佐紀師(旭日小綾章・紫綬褒章受章)に師事。大阪の商家や花街を中心に舞い・伝えられてきた上方舞・山村流の師範として、東京・大阪・神戸に稽古場を開く。また、舞踊公演への出演や門弟の育成はもとより、大学や企業での講座、伝統芸能のイベントプロデュースなど、幅広く活動している。テレビ・ラジオの出演多数。本名・堀口初音として著書に『上方伝統芸能あんない』(創元社)ほか。「静紀会」主宰。2012年より「静月会」「山村若静紀 舞の會」開催。小唄と上方舞のユニット「月待の会」同人。日本舞踊協会会員。ウェブサイト <http://wakashizuki.jp/>



東 學(あずま・がく)

1963年12月9日、京都生まれ。作務衣に雪駄姿で大阪は道頓堀に生息する。日本の舞台・演劇シーンで数多なるポスターデザインを産みだす異端的アートディレクター。17歳時に描いた作品「フランス人形」はN.Y.メトロポリタン美術館に永久保存されている。純日本的な血から生み出される墨画には、アートディレクターとしてのアバンギャルドな感性と、日本古来の美意識が凝縮。2007年に墨画集『天妖』(PARCO出版)を刊行。PARCO劇場や新橋演舞場、など数多くの演劇公演のポスターデザインを請け負う。2014年、歌舞伎役者・片岡愛之助とコラボした墨絵のライブパフォーマンスが圧巻。2020年、約200名の女性の肌をキャンバスにした作品集『DRESS CODE_東學肌絵図鑑』を出版する。



菊央雄司(きくおう・ゆうじ)

古生田流箏曲、野川流三絃、上方系胡弓、平家琵琶 演奏家 人間国宝故菊原初子の後継者菊原光治師に12歳で入門。上方系胡弓を菊津木昭師に師事。野川流三味線本手組歌及び古生田流箏組歌、両巻を伝受。上方胡弓を菊津木昭師に師事。長谷校校記念第6回全国邦楽コンクール最優秀賞、文化庁奨励賞、大阪舞台芸術新人賞 大阪市咲くやこの花賞、大阪文化祭奨励賞、日本伝統文化振興財団賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。(公)当道音楽会会員、琴友会所属、平家語り研究会会員。「菊央雄司地歌の会」主宰 NHK文化センター西宮ガーデンズ教室講師、文楽研修生講師



わかぎゑふ(F・Wakagi) 劇作家・演出家、プロデューサー。1959年生 大阪市出身 関西小劇場の劇団リリパットアーミー二代目座長、芝居制作処「合資会社玉造小劇場」の社長。大阪弁の人情喜劇、明治以降の近代日本の庶民劇に定評がある。日本劇作家協会、日本演出者協会(現理事)日本ペンクラブに所属。2000年大阪市きらめき賞。2001年上演の「お祝い」の作、演出に対して大阪舞台芸術奨励賞受賞。同作品で岸田戯曲賞ファイナリスト。2011年度バックヤード・ファンデーション演劇賞受賞(三軒茶屋婦人会「紅姉妹」脚本に対して)2017年大阪文化祭奨励賞受賞。(古典芸能とのコラボ企画「わ芝居」に対して)大劇場から小劇場まで縦横無尽に演出できる数少ない女性演出家のひとり。ラジオ、テレビへの出演、ドラマの脚本、エッセイ本も多い。NHKで放映中の『リトル・チャロ』シリーズの脚本家。2023年には大阪市市民表彰を受賞。

プレトーク開催決定! 日本舞踊家 山村若静紀と、歌舞伎町能舞台オーナーでもある手塚マキ氏が登場!
本公演について、ここから始まろうとしている挑戦について語ります。

2024年7月13日(土) 14:00~ 新宿歌舞伎町能舞台 料金:2,000円

手塚マキ (Smappa!Group会長) 村上湛 (明星大学教授、演劇評論家) 山村若静紀 (日本舞踊家) 司会:TAMA FREEDOM

チケット予約:オンラインチケットサービスPeatix <https://koerubuyokai01.peatix.com>